

テレワークを味方にする！

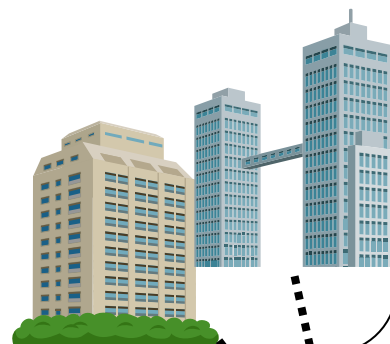
～緊急時対応とワーク・ライフ・バランス(WLB)から見たテレワークの光と影～

時間と場所に囚われない働き方である「テレワーク」には様々なメリットがあります。通勤の負担軽減、介護や育児への利便、オフィスコストの削減、CO₂排出量削減などです。その反面、仕事と生活の区別が曖昧になる、労働安全衛生の軽視、人事評価への不安、情報セキュリティの不安などのデメリットもあります。WLBの観点からテレワークの実態を検証することが重要です。また近年、緊急事（大規模テロ、新型インフルエンザなど）対応の1つとしてもテレワークが注目されています。

本セミナーでは、テレワークの様々な形態を紹介し、働き方の問題点と対策、さらにテレワークを実施するために配慮しなくてはならない法的な問題点や対策を紹介します。例えば、昨年のガイドライン改正により「在宅勤務時のみなし労働時間制」が適用しやすくなり、また、使用者が把握しない休日労働等については労働時間として取り扱わなくてよいとされました。しかし、使用者にも注意すべき労務管理が示されており、労研主催の本セミナーでだけしか聞けない「改正・在宅勤務ガイドライン」の詳細な解説や中小企業でも低コストでかつセキュリティの高いIT環境が構築できる方法を紹介します。

プログラム内容

1. テレワークとは何か、その目的は？
2. テレワーク事例の紹介
3. テレワークのメリット・デメリット
4. テレワーク導入時の労働基準法等の対応
 - (1) テレワーク勤務規程の作成手順
 - (2) テレワークと労働時間制度
5. 緊急時対策のための「在宅勤務制度」



対 象：安全衛生スタッフ、産業保健スタッフ、人事・労務・総務部門 など

講 師：北島 洋樹 財団法人 労働科学研究所副所長・研究部長

中島 康之 社会保険労務士法人 NSR 代表社員・特定社会保険労務士

日 時：【東京会場】2009年11月24日（火）14：00～17：00

【大阪会場】2009年11月26日（木）14：00～17：00

会 場：【東京会場】日本教育会館 901号室（9階）

【大阪会場】大阪科学技術センター B102号室（地下1階）

受講料：【労働科学研究所 維持会員】**無 料**（資料含む）

【一 般】8,000円（資料代・消費税込み）

定 員：40名

★お申し込み方法：裏面のFAX申込用紙または電子メールでお申し込みください。



財団法人 労働科学研究所 維持会

〒216-8501 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-8-14 TEL 044-977-2123 FAX 044-976-8190

E-mail : islseminar@isl.or.jp URL <http://www.isl.or.jp/>

お申し込み・お問い合わせは FAX または E-mail でお願い申し上げます。

FAX : 044-976-8190

E-mail : islseminar@isl.or.jp

2009 年度 労働科学研究所セミナー 申込書

〈ご参加日〉・2009 年 11 月 24 日 (火) 東京開催

・2009 年 11 月 26 日 (木) 大阪開催

*いずれかを○でお囲み下さい。

〈組織名〉

チェックしてください

維持会員	無料
一般	8,000円

〈参加者〉

所属	氏名	E-mail	受講料
			円
			円
			円
			円

住所

連絡先 TEL

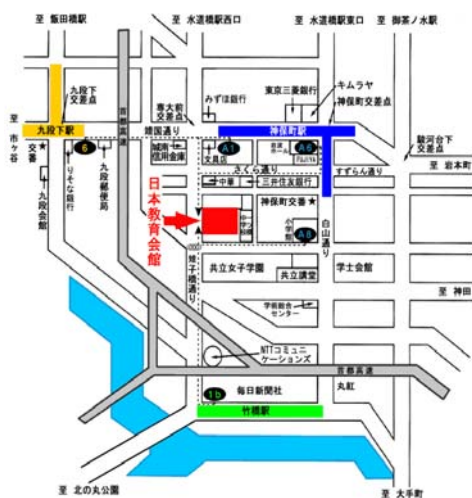
FAX

通信欄:

ご記入いただいた個人に関する情報につきましては、当研究所が責任をもって管理し、本例会の的確な実施(ご連絡、運営、お問い合わせ対応等)のために使用するほか、当研究所の主催する各種セミナー・研究会のご案内のために使用する場合があります。この情報提供に同意いただけない場合には、通信欄にご記入下さい。

【会場案内図】

東京会場：日本教育会館



東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
地下鉄各線[神保町]駅(A1出口)徒歩3分

大阪会場：大阪科学技術センター



大阪市西区本町 1-8-4
地下鉄四つ橋線[本町]駅(28番出口)徒歩3分
地下鉄御堂筋線[本町]駅(2番出口)西へ徒歩8分